

## 設 立 趣 意 書

2026年の第20回アジア競技大会の愛知・名古屋開催が、2016年にベトナム・ダナンで開かれたアジア・オリンピック評議会の総会において、万雷の拍手をもって決定されました。

アジア競技大会は、第二次世界大戦の戦禍によって引き裂かれたアジア諸国の絆を、スポーツを通じて取り戻し、アジアの恒久平和に寄与したいとの願いを込めて、1951年に第1回大会がインド・ニューデリーで開催されました。以来、スポーツにより友情を育み、多様性を認め合うことを通じて、国際平和に寄与するアジア最大のスポーツの祭典となっております。

愛知・名古屋大会は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催によるスポーツへの関心の高まりを引き継ぐ、日本のスポーツ界の次なる大きな目標となり、プロや実業団、学生などのスポーツが大変盛んなこの地域が一体となって、アジアを代表するアスリートに最高のパフォーマンスの場を提供することにより、スポーツの振興に大きく貢献するものであります。

また、2027年度に予定されているリニア中央新幹線の開業を見据えたビッグ・プロジェクトとして、そのインパクトを活かした交流人口の拡大や国際競争力の強化などの効果も生み出してまいります。

さらに、大会を契機とした、スポーツ界を始め市民レベル、ビジネスレベルなど多種多様な交流活動を通じて、成長著しいアジア地域とのより強固な連携の構築にも寄与するものであります。

このような、幅広い社会的・経済的な効果をもたらす愛知・名古屋大会の開催は、この地域はもとより、中部圏、さらには日本全体の成長に貢献するものであり、また、名実ともに東京に対抗する日本のセンターとしての愛知・名古屋のブランドを確立するものであります。

このため、この大会を成功させることを目的として、ここに大会の準備及び運営に関する事業を行う「一般財団法人愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会」を設立しようとするものであります。

2019年（令和元年）5月30日

発起人 愛知県知事 大村 秀章  
名古屋市長 河村 たかし  
公益財団法人日本オリンピック委員会会長 竹田 恆和